

2019

3

March
No. 312

広報みしま

Mishima Town Public Relations



雪国の冬を楽しむ

第47回雪と火のまつりー雪玉ストラックアウト&リンボー&パン食いレース

(裏表紙に関連記事)

会 津キリ振興連絡協議会が最優秀賞 北海道・東北地区の発表会へ
 桐栽培研究の取り組みを発表 林業研究グループ等活動発表会

林業研究グループ等活動発表会は1月31日、福島県林業研究センター（郡山市）で開催されました。福島県の主催、福島県森林・林業・緑化協会等の後援。県内6地区の団体が林業に関係する活動事例を発表しました。

会津地区からは当町が事務局である会津キリ振興連絡協議会が参加し、藤田旭美専門員が「日本一の会津桐の再興を目指して」と題し桐栽培研究の成果や課題について発表しました。6団体が発表後、審査が行われ、同協議会が最優秀賞を受賞し、秋田県で開催される北海道・東北地区の発表会に推薦されることになりました。

今後も当町は同協議会の中心として、桐栽培研究を継続しながら桐産業の活性化を目指していきます。



発表会は県内の森林関係団体等が参加して開催され、当町の藤田旭美専門員が桐栽培研究について発表しました。

三 島の文化財を守るため
 文化財防火訓練

文化財防火訓練は、1月27日大登地区で行われ、三島町消防団大登班、会津坂下消防署三島出張所、会津坂下警察署三島駐在所や地区住民の方々が訓練に参加しました。神社より出火したという状況を想定し、通報訓練、文化財持ち出し訓練や放水訓練などが行われました。また、その後消火器を使用した初期消火訓練などが行われ、消火器の使用方法を確認しました。



無 火災 365 日を達成
 会津坂下消防署三島出張所が表彰

三島町内の無火災記録が 365 日に達し、会津坂下消防署三島出張所が会津若松広域市町村圏整備組合消防長より表彰されました。芳賀利幸会津坂下消防署長と古賀信広三島出張所長が矢澤町長と二瓶団長に報告しました。

春が近づいてきましたが、暖房を使う機会はまだまだ多いと思います。火の取扱には十分気をつけ、無火災記録を継続しましょう。



詐 欺の手口と対策を学ぶ
 なりすまし詐欺防止講習会

会津坂下警察署によるなりすまし詐欺防止講習会は2月14日に町民センターで行われました。同署刑事生活安全課の愛澤生活安全主任を講師としてお招きした講習会では詐欺に加え、日頃起こり得る様々な詐欺犯罪の事例や対処方法などについて詳しい説明があり、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

会津坂下警察署管内でもなりすまし詐欺が毎年発生し、大きな被害が発生しています。怪しいと思ったら家族や警察に相談しましょう。



全国学校図書館協議会長賞を受賞した浅見凰花さん（中央）

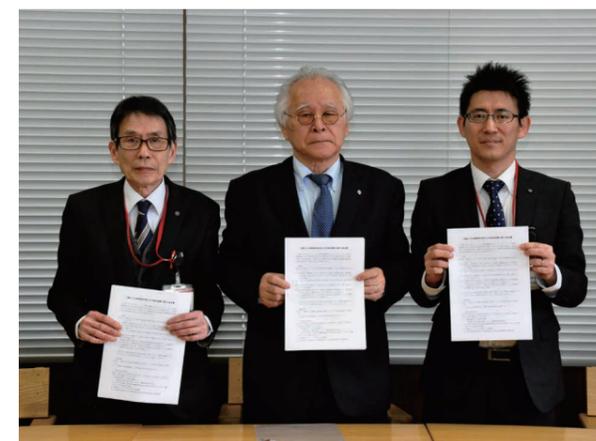
何度も読んでいくうちに理解できるようになり、面白くなっていったそうです。

全国学校図書館協議会長賞は内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞に次ぐ賞で、第64回青少年読書感想文全国コンクールは全国25,594校より414万6,941編の応募がありました。

第64回青少年読書感想文全国コンクールで、三島小学校2年生の浅見凰花さん（名入）が全国学校図書館協議会長賞（優良賞）に選ばれ、表彰式が2月8日に東京都大手町の経団連会館で行われました。浅見さんは渡部三島小学校長と共に2月15日に町長室を訪れ、矢澤町長、佐藤教育長に報告しました。

読書と虫が大好きという浅見さんが選んだ「なまずこのつべ？」（カーソン・エリス作・絵 アーサー・ビナード訳 フレーベル館）という絵本は、全編が昆虫語という架空の言葉で描かれた不思議な一冊です。始めのうちは昆虫語がよくわからず戸惑ったものの、

浅見凰花さん（名入）が
 全国学校図書館協議会長賞を受賞
 第64回青少年読書感想文全国コンクール



協定を結んだ山田宮下郵便局長（右）、藤田西方郵便局長（左）

これにより、町内に住む一人暮らしの高齢者の見守りとして、町外に住むお子さんへの定期的な連絡などのサービスや、地産品の首都圏など各地での物販、広報を掲示できる場所や情報の提供などが可能となります。さらに今後、自治体活性化についての様々な支援について話し合っていくこととなります。

けた取り組みとして、定期的な情報交換の場を設け地域の課題について意見を交換し、郵便局のネットワークを生かし、その課題解決に向けて郵便局が自治体活性化に支援を行うことを加えたものです。

三島町と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定の締結式は2月14日に町長室で行われました。

矢澤町長と山田哲也宮下郵便局長、藤田義則西方郵便局長の三者で協定書に署名して協定を締結しました。この協定は、平成29年3月に締結した、災害時の協力、高齢者の見守り、道路損傷時の通報、不法投棄の通報のほかに、地域貢献に向けた取り組みとして、定期的な情報交換の場を設け地域の課題について意見を交換し、郵便局のネットワークを生かし、その課題解決に向けて郵便局が自治体活性化に支援を行うことを加えたものです。

郵便局のネットワークを活かし
 地域活性化支援
 日本郵便株式会社と包括連携協定を締結

伝統継承「子どものサイノカミ」

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

2月10日、桧原地区の「子どものサイノカミ」が行われました。

今年も小正月行事（1月15日）に実施した大きなサイノカミの御神木を再利用し、7メートルに短くし作りました。少子化が加速する中、地区役員が主体となり7名の協力を得て完成しました。

「子どものサイノカミ」について、町の参考文献はありますが、起源がないため地区の年長者の皆さんに聞くと「自分は子どもの頃に参加していた」「明治の時代より実施されていたと思う」との話を聞くことができました。総評すると、120年以上前より継承されていると推測されます。

午後7時より、地区の大人、子ども達により点火され、小雪の舞う中でしたが点火した炎は勢いよく燃え上がり、多くの皆様が参加され今年一年の無病息災と地区の繁栄を願いながら、伝統行事を楽しみました。また、子ども達にはお菓子や飲み物が配られました。最後に、地区消防班の皆さん、遅くまで火の始末ご苦労様でした。



好天の中、団子まき用の托鉢

文・写真 本名与四郎さん（西方）

2月11日の建国記念日にあたる月曜日、午前8時30分に二瓶辰雄さん、青木喜章さん、小松豊さん、栗城康一さんをはじめとする護持会の皆さんや三島小6年生の子どもたちなどが西隆寺に参集し、団子まき用のための「托鉢」が行われました。早朝から天候に恵まれ、陽光の射す中、各家々では、前もって準備しておいた団子まき用お米を子どもたちに手渡す光景が見られました。

また、遠藤弘佳和尚さんによる心温まるお経が銀世界の中に響き渡りました。ご厚意により施しを受けたお米は、3月19日に近くの檀家の女性の方々が西隆寺の庫裏に集まり、7色の小さな団子作りをするということでした。

なお、恒例の「団子まき」は3月21日の春分の日午前11時30分より西隆寺本堂で行われます。護持会会長の山垣光英さんは、地区民だけでなく、町内外からも春を呼ぶ団子まきに足を運んで欲しいと待ち望んでいました。



「輪投げ・豆まき大会」行われる

文・写真 菅家壽一さん（間方）

2月2日、間方地区では、美女帰の里まがた活性化事業と老人クラブによる「輪投げ・豆まき大会」を行いました。

冬期間は、家の中に閉じこもりがちで、地区民どうしが触れ合う機会が少ないこと、かつて節分には子ども達が家々を回って賑やかに豆ひろいをしていたが、今は子どもが少なくなってしまいその風景が見られなくなってしまったことから、年寄だけでも豆まきを楽しもうと行っているものです。

開会式、準備体操、そしてチーム編成をして、和気あいあいの中にも豪華賞品をかけた真剣勝負の輪投げ大会が行われました。

輪投げ大会終了後、入賞者が豆やお菓子をまき、参加者全員で賑やかに豆ひろいを行いました。その後、豆やお菓子を食ってお茶を飲みながら振り返り「童心に帰えて楽しかった」「もっとたくさんの人に参加してほしい」などの声がありました。

今回の輪投げ・豆まき大会は、ふれあいリフレッシュ事業として、町社会福祉協議会からの助成を受けて実施しているものです。



高清水地区に伝承されている「百万遍」

文・写真 菅家敏一さん（高清水）

2月7日、大きな数珠を持って各家庭を巡る「百万遍」を今年も実施しました。

「魔除け」「厄除け」と「疫病除け」のため、訪れた家の方々と「なんまいだ・なんまいだ」と唱えながら大きな数珠を3回廻すのが地区のやり方です。また、その数珠には鎮魂・追善・豊穰・除災等の思いがこめられているそうです。

小さな地区の行事ではありますが、継続していければと思います。これが終わりますと3月4日は「雛流し」がありますので、雛づくりに取りかかるようです。



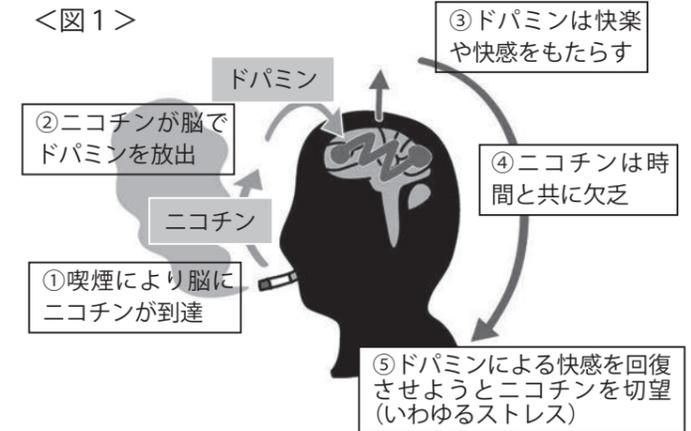
多くの人利用する建物は原則屋内禁煙に!
~ (改正健康増進法 2020年全面施行) ~

ニュース等で報道されているように、望まない受動喫煙をなくすために2020年までに多くの人が利用する建物は原則屋内禁煙になります。2020年に向けて、2019年夏ごろまでに学校、病院、児童福祉施設、行政機関などは敷地内禁煙に。そこで今回はタバコについてのお話です!

なぜタバコは止められないの?

<図1>のようにタバコを吸うと血液中のニコチン濃度が急激に上がります。ニコチンの濃度がピークに達している間に「タバコがおいしい」という感覚が生まれます。この「おいしさ」に精神的に依存し、いつまでもおいしさを求めるようになるようです。

逆に血液中のニコチン濃度が低くなると、落ち着きのなさ、欲求不満、不安、集中困難などの禁断症状が起こりニコチンがほしくなるため、喫煙者は軽い禁断症状と回復を繰り返すというメカニズムになります。



ニコチン依存症の診断 以下の質問を読んで当てはまる項目に✓を入れてください

設問内容	はい	いいえ
自分が吸うつもりより、ずっと多くのタバコを吸ってしまっていましたか。		
禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありましたか。		
禁煙したり本数を減らそうとした時に、タバコがほしくてたまらなくなることがありましたか。		
禁煙したり本数を減らそうとした時に、次のどれかがありましたか。(イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加)		
上の症状を消すために、またタバコを吸うことがありましたか。		
重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっていても、吸うことがありましたか。		
タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっていても、吸うことがありましたか。		
タバコのために自分に精神的問題が起きているとわかっていても、吸うことがありましたか。		
自分はタバコに依存していると感じたことがありましたか。		
タバコが吸えないような仕事や付き合いを避けることがありましたか。		
合計 (「はい」にチェックした数)		点

保険診療については、この表を用いて、ニコチン依存症かどうかを診断しています。**5点以上がニコチン依存症**です。
※タバコを止めたい方は、病院の禁煙外来を受診しましょう!

図書のご案内

●今月のおすすめ



「おれは一万石」
作：千野 隆司

17歳の竹腰正紀は一俵でも禄高が下がれば旗本に格下げになってしまう一万石の下総高岡藩井上家に婿入りすることになった。藩のため、奔走する日々が始まる!

●利用時間
月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。

「魔女図鑑」
～魔女になるための11のレッスン～
作・絵：マルカム・バード
翻訳：岡部 史



魔女にまつわる11の秘密が描かれた絵本。
読めば魔女がもっと好きになる!

題名	著者
眩	朝井まかて
会津の100年	いき出版
死ぬまでに行きたい世界の絶景	詩 歩
信長の原理	板根 涼介
フーガはユーガ	伊坂 幸太郎

●新着本

●公民館 ☎ (48) 5599

町史編さん室だより

第38回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎ (52) 2165

明治初期における各村の物産取調

明治五(一八七二)年、大区小区制がはじまり、小区には戸長が置かれ、行政の役割を担いました。こういった制度は明治二十二年(一八八九)年に市制・町村制ができるまで存続します。このような小区において戸長が県からの問い合わせに対し報告を行っています。その一つに「物産取調」などと称される各村の生産物の調査報告があり、全国的に明治五年頃から十年代にかけて盛んに行われたようです。これを読めば、当時の各村における主要生産物やその収穫量、金額に換算して幾らなのかなどがわかる貴重な史料です。

桑原の元名家にあっていわれる『河越文書』にも、明治五年から十五年にかけて桑原村・大登村・大谷村・浅岐村・間方村の物産取調の一部が遺されています。一例として取り上げたのが明治八(一八七五)年二月に若松県令宛に書かれた浅岐村の「物産取調書」で、当時の浅岐村の主な生業が確認できます。例えば園蔬類を見れば蘿蔔(ダイコン)の栽培や紫蕨(ゼンマイ)採りが盛んなこと、果実類では会津藩の特産だった蠟燭に利用される漆木実がまだ多く採られていること、荏(エゴマ)や麻を多く栽培していることなどがわかります。割愛しましたが、明治六年の間方村の「物産表」には栃が五十二石とあり、史料をそのまま読めば浅岐村の七石に対し、桁違いの採取が行われていたようです。また間方村では木地や杓子も物産として取り上げられており、木地挽きの存在がうかがえます。

その他、浅岐村と同時期に書かれた大登村の「物産取調」では(御種)人参がその収穫量・金額から当地の主要な産物であったこと、醸造物である清酒・味噌・醤油も盛んなこと、また果実類に柿が二万三千(個)とあることから、食用に適した柿が今でも多く植わっている大登の特色が当時から見られることがわかります。逆に記載するほど採取しなかったのか、間方・浅岐で見られた紫蕨(ゼンマイ)の記述がなく、環境の違いも見てとれます。

このように報告を読み、また比較することで、時代背景や各村の環境・状況に応じた物産の特徴が明らかになります。
文 三島町史編さん室

物産取調書

第2大区10小区 岩代国大沼郡 浅岐村

品名	数量	通価
米穀類		
現米	6石1斗	30円50銭
同	21石2斗7升	96円40銭9厘
大豆	8石7斗2升	43円60銭
小豆	1石6斗	10円
蕎麥	16石1斗5升	50円46銭8厘
粟	4石8斗	9円23銭
園蔬類		
蘿蔔	5336貫匁	100円67銭
菜	1340連	16円75銭
里芋	1石7斗7升	3円54銭
馬鈴薯	3石6斗5升	2円55銭
牛房	280本	92銭4厘
薯蕷	6貫匁	60銭
紫蕨	206貫匁	42円91銭
禽獣類		
鶏	2羽	25銭
雞卵	100粒	42銭
種子並果実類		
麻子	3石5斗9升5合	7円19銭
胡桃	5800粒	2円70銭
漆木	7石	3円50銭
漆木実	13石6斗	17円
荏	5石2斗5升	14円58銭
糸綿麻類		
糸綿下等品	6石5斗8升5合	65円85銭
玉	9斗1升5合	6円53銭
屑	1石6斗9升	5円63銭
麻	235貫200匁	195円99銭
真綿	980匁	7円53銭8厘
織物類		
布	36匹	45円
蓆席類		
蓆	85枚	4円25銭
網繩類		
縄	3550尋	35銭5厘
藁細工類		
履	480足	2円88銭
馬履	845足	5円7銭
草鞋	2500足	15円
藁	73	13円42銭
薪炭類		
木	80棚	60円
大竹類		
楮	76貫匁	1円90銭

右之通当村内明治7年物産高取調書面之通二御座候以上

第2大区10小区浅岐村 兼戸長 河越諒平

若松県令 澤 簡徳 殿

※本表は「物産取調書」の誤字を訂正、旧字を常用漢字に、漢数字を算用数字にあらため、その他若干の修正を加えて読みやすくしたものです。



環境研だより 第8回「交通調査の速報とSDGsについて」

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室

三島町のみなさま、こんにちは。

今回は昨年12月に協力いただきました「三島町住民の生活行動に関するアンケート調査」結果のご報告と、それに関連して昨今の地域活性化の重要なキーワードとなっている「SDGs」についてご紹介します。

三島町民みなさまにお送りさせていただいた「三島町住民の生活行動に関するアンケート調査」へのご協力、大変にありがとうございました。多数の回答が寄せられましたこと、深く御礼申し上げます。

このアンケートは、三島町にお住まいのみなさまの普段の交通手段と移動先、および町営バスやデマンドバスへのご意見を把握することを目的とした調査で、日本大学との共同で実施しました。複雑な選択肢と記入にもかかわらず、みなさまから大きなご協力をいただきました。私たちも十分な分析を加えさせていただいた上で、町の交通政策に必ずや貢献できるような結果を出したいと思っています。

現在まで各項目の集計が終了しています。例えば、主な交通手段は、宮下地区周辺を中心部ではバスや病院・介護施設の送迎車の利用が多い特徴が見られました。また町外では、会津坂下町や会津若松市に向かう場合に鉄道の割合が高く、駅周辺に商業施設や病院が立地していることが理由と想定されました。また各種施設が駅から遠い柳津町へ向かう場合は、過半数が自家用車を利用する傾向が見られました。

町営バス・デマンドバスの利用者はそれぞれ全体の2割弱(約60名)で、主な利用目的は通院や買い物でした。今後の町の交通のあり方として、「維持・充実」へ6割強の要望がありました。また多くの運用改善のご意見もいただきました。今後、項目間の相関などのより高度な分析を加え、三島町における基礎資料として結果をご提供させていただく予定です。

さて最近新聞やテレビで、「SDGs(エスディーゼーズ)」という言葉聞くことが多くなりました。これは2015年の国連サミットにおいて採択された、2030年に向けた環境をふくむ経済・社会についての国際目標です。

SDGsとは「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals:SDGs)の略です。「持続可能な開発」とは、国連の定義では「将来の世代がその需要を満たす能力を損なわず、現世代の需要を満たす開発」とされています。現代を生きる私たちだけではなく、この先の将来を生きる人々が困ることがないように、未来に向けた取り組みです。SDGsは17の目標(ゴール)と169の下位

目標(ターゲット)から構成され、地域の活性化などの幅広い課題の解決を目指しています。(※図1)



図1 SDGsの17のゴール(国際連合広報センター)

これだけ聞くと話しが壮大すぎてイマイチわかりませんよね。ではSDGsとは三島町とどんな関わりがあるのでしょうか。私たちは主に町の森林利活用について支援していますが、森林との関連だけでも、例えば再生可能エネルギーとして7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、林業として8番の「働きがいも経済成長も」、土砂災害防止として13番の「気候変動に具体的な対策を」、環境保全として15番の「陸の豊かさを守ろう」、これらを町内外の様々な関係者と取り組むことで17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」...などなど、普段の取組が実は様々なゴールと関係していることがお分かりいただけるかと思えます。国の政策としてもSDGsは重要なキーワードとなっていますので、私たちも三島町の取組がSDGsの達成にうまく繋がるような支援ができればと考えています。

昨年7月から始まった「環境研だより」も今年度分は今回で終了となりますが、次年度も引き続き連載させていただき予定ですので、よろしく願い申し上げます。みしまテレビにも枠をいただいていますので、そちらもぜひご覧ください!

<筆者紹介>

常盤 達彦(ときわたつひこ)

埼玉県出身で平成28年~30年まで三島町地域おこし協力隊として活動していました。環境研がどのような活動をしているのかわかりやすく伝えていきたいと思っています。



●内容に関するお問合せ先
国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室
☎0247(61)6572

愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です!

宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」(在宅療養生活支援外来)を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

インフルエンザの流行時期です。手洗い、うがい、咳エチケットを!

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

などを目的に、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。



相談窓口では、皆さまの疑問や不安、要望などの相談を受け付けています。予約は不要です。待合室にお越しください。

費用は無料です。どなたでもご利用できますので、お気軽にお越しください!(相談コーナーと健康教室は予約不要です)

月 日	内 容
3月4日(月)	・住民交流事業「フォトフレーム作成体験」 講師:宮下病院病棟師長 押部香澄
3月7日(木)	・相談コーナー ・健康教室「これって……誤嚥!?!」(講師:看護師)
3月14日(木)	・相談コーナー ・健康教室「乳酸菌のおはなし~免疫力アップ♪」(講師:管理栄養士)
3月28日(木)	・相談コーナー ・健康教室「季節の変わり目は体調の変わり目」(講師:看護師)

- ・相談コーナー 午前9~12時、午後1時~4時
- ・健康教室 午前10時30分~11時
- ・場 所 宮下病院 外来待合室等
(健康教室の内容は変更になる場合があります)

☎宮下病院 ☎(52)2321

高齢者の薬の付き合い方

高齢になるといくつもの持病を抱えます。そして、持病の数だけ薬も増えていきます。75歳以上の約4人に1人は、7種類以上の薬を院外薬局で受け取っていると報告されています。また、高齢者は服用する薬が6種類以上になると、副作用を起こす割合が増えることも報告されています。理由としては、薬が多だけでなく、加齢により内臓の機能が低下して薬が効きすぎることがあります。

ただ、薬が多いから悪いという訳ではありません。薬との付き合い方を大事していきましょう。具体的には、「自己判断で薬を中断しない」「飲

専門薬剤技師(兼)薬剤部長 近藤剛

んでいない薬、余っている薬は必ず医療機関に伝える」「むやみに薬を欲しがらない」などがあります。

薬の数を減らすことができるかどうかについては、かかりつけの医師あるいは薬剤師に相談してみたいかがでしょうか。その他にも、「飲みやすい薬への変更」、「服用回数の変更」、「ひとまとめ」、「介護する方が管理しやすい時間に変更」などといったことが可能なケースもあります。



街頭犯罪発生件数 (H31.1.1～)

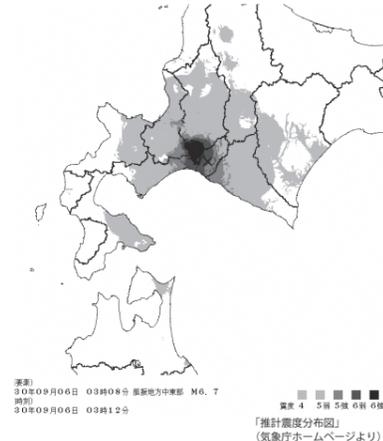
区分	管内	三島町
空き巣		
忍込み		
事務所荒し	2	
自動車盗		
自転車盗		
自販機ねらい	1	
車上ねらい		
部品ねらい		
街頭犯罪合計	3	0
全刑法犯	5	0

(平成31年1月31日)

- 会津坂下町内で事務所荒しが発生しています
- ・店舗内に現金を保管しない事や防犯カメラなどの防犯対策を強化してください。
- ・夜間に不審者や不審車両を見かけた場合はすぐに通報してください。

当町より平成30年北海道胆振東部地震災害義援金を寄附しました

平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震により甚大な被害を受け、尊い命が失われるとともに、多数の方々が負傷しました。また、大規模な土砂災害や家屋の倒壊、さらには全域での停電によるライフラインの寸断による影響は大きく、住まいや暮らしの再建と地域産業の復興は時間がかかる状況です。



町では、この災害で被災された方々を支援するため日本赤十字社福島県支部へ「平成30年北海道胆振東部地震災害義援金」を送りました。この災害義援金は、被災地に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災者へ全額配分されます。

消防署からのお知らせ
平成31年春の全国火災予防運動

期間 3月1日(金)～7日(木)

全国統一防火標語

「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

空気が乾燥して火災が発生しやすい季節になりました。今年も春の全国火災予防運動を実施します。火災予防運動は、住民の皆様には防火意識を一層高めていただき、火災予防を徹底することにより、尊い生命や貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033



会津坂下警察署からのお知らせ 2月にスリップ事故多発!

今年2月中に発生した交通事故の約半数がスリップ事故です。また、スリップ事故の約4割がスノーシェッド内で発生しています。晴れていても

夜間、スノーシェッド内、日陰、橋の上は凍結している場合があります。

スリップの事故防止

- スノーシェッド内やトンネル出入口は十分に減速
- 速度は控えめにして車間距離は長めに
- 急ハンドル、急発進、急ブレーキなど急のつく運転をしない

なりすまし詐欺防止 大手通販会社を名乗るメールに注意!

不審なメールの概要は、携帯電話に「登録料金の未払いがございませす。本日、ご連絡が頂けない場合、裁判の申し立てをします。○○○○Japan(株)受付○○○○(電話番号)」などとショートメールが送信されたものです。犯人は、登録料金のほか、有料動画の未納料金など様々な口実のショートメールを不特定多数の相手に送信してきます。「裁判の申し立てを開始します。」等の脅しの言葉があったら、絶対に電話番号にかけないで警察に相談してください。

STOP! ネット犯罪 子どもによる犯罪も発生!

- ネットに個人を中傷する書き込みをする行為 ~刑法: 名誉毀損
- SNSサイト等を模したフィッシングサイトをインターネット上に公開し、サイトを見た者のIDやパスワードを不正に取得 ~不正アクセス禁止法違反
- フリーマーケットアプリに出品されていたコンピューターウイルスの入手マニュアルを購入し、ウイルスをいたずら目的で取得 ~刑法: 不正指令電磁的記録取得
- 男子高校生が、出会い系サイトに「高校生です。Hなことしてくれる女友達募集集中です。」などと書き込み ~出会い系サイト規制法違反



社会福祉協議会 ☎(52) 3344

- ▼大石田友遊サロン 3月5日(火) 10時〜 大石田生活改善センター
- ▼浅岐あつたかサロン 3月6日(水) 10時〜 浅岐集会所
- ▼間方いきいきクラブ 3月13日(水) 10時〜 間方集会所
- ▼松原はつらつクラブ 3月14日(木) 10時〜 松原集会所
- ▼川井友愛サロン 3月15日(金) 10時〜 川井集会所
- ▼滝谷和楽塾 3月19日(火) 10時〜 滝谷集会所
- ▼高清水・小山いきいきサロン 3月20日(水) 10時〜 高清水集会所
- ▼ひまわりサロン 3月22日(金) 10時〜 町民センター
- ▼大登サロン 3月26日(火) 13時〜 大登生活改善センター

社会福祉協議会より

サロンのご案内

町の人口と世帯 2月1日現在

人口	1,633	-6	出生	0
男	805	-3	死亡	4
女	828	-3	転入	2
世帯	769	0	転出	3

⑤住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

3月分納税のご案内
【納期限 4月1日】
国民健康保険税(随期)
介護保険料(普通徴収)(随期)
後期高齢者保険料(普通徴収)(随期)
町民課町民係 ☎(48) 5555
忘れずに納付しましょう

町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの
青木 則勝様(西方)
舟木 政一様(間方)

ご寄附ありがとうございました

1_ サイノカミの再現に多くの来場者が集まりました。 2_ 総合司会を務めた「ぺんぎんナッツ」のお二人。お笑いステージも披露し会場を盛り上げました。 3_ 山浦雅也さんらによるサクスカルテットライブ。素晴らしい演奏に大きな拍手が送られました。



第47回 雪と火の まつり

第47回雪と火のまつりは2月9日に町民運動場で開催され、町内外から多くの来場者で賑わいました。国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」や「鳥追い」が再現され、「団子さし」が飾られた会場は、雪国の民俗文化に染まりました。会場では、川井地区と滝谷地区の方々によりサイノカミが立てられたほか、松原地区の皆さんの指導により、三島小・三島中の児童生徒がサイノカミ作りを体験しました。雪上障害物競争、雪上綱引きや会津出身のプロサクスプレイヤー、山浦雅也さんらによるサクスカルテットライブなどが行われました。まつりの最後は恒例の福々みかんまきが行われ、くじ付きのみかんを拾った方に景品が贈られました。



4_ 福々みかんまき。当たりくじを拾った方には豪華賞品が贈られました。 5_ 雪玉ストラックアウト&リンボー&パン食いレース。パンは参加賞として美味しくいただきました。 6_ 雪上綱引きで優勝した滝谷建設工業(株)チームの皆さん。

町長日記 木を見て森を見る?

No. 44

平成31年度の当初予算は各課等が作成し、総務課長予算査定をそして町長の予算査定を経て3月議会定例会に提案し、議会において様々な角度からのご審議を経て議決をいただき、4月1日より事業等の実行になります。役場の予算は毎年この繰り返しです。役場の予算査定は当然数字で表現されますが、一番大切な観点は、数字の裏に潜む事業の理念を読み取ることでないかと考えます。議会の場において議員の皆さんと町づくりの議論を通して、町の考え方や議員の皆さんの考え方の違いを「傍聴の席」または「議会だより」や「広報みしま」等において町民の皆様が知ることになります。

世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」④「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守ると共に地域と地域で連携する」これらの4つの基本目標を有識者で組織されており、検証チームの中間報告書により、①③④の施策は一定程度進展しているが、②の「地方への新しい人の流れをつくる」については、首都圏への転入超過者が約12万人に上ると発表されています。

各課等の重点事業の考え方は、町振興計画や地方創生計画に基づいて編成されますが、時代の変化や財政の状況等において事業年度の変更や事業の廃止等があった場合は、再度町振興計画審議会において議論していただき決定されます。

これらの状況を作り出す背景は何に原因があるのかと考えると、木を見て森を見ないところにあるのではないかと考えます。常に経済中心の視点から日本全体をとらえていく視点が原因でないのかと考えています。

地方創生計画に基づいて、予算を編成する場合常に感じる事があります。地方創生計画の根幹をなす「総合戦略」では基本的に4つの基本目標があります。①「地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする」②「地方への新しい人の流れをつくる」③「若い

地方創生は、効率性に集中する社会ではなく、多極分散型の社会を構築することが本当の意味での地域創生でないかと考えています。多くの極をつくり、連携させ、循環する経済の仕組みをつくる社会が求められているような気がしてなりません。

心して働けるようにする」②「地方への新しい人の流れをつくる」③「若い

木の特質を知り、全体の森を創造する視点と、森を知り、林を観る視点が強くと求められる時代です。

三島町長 矢澤 源成